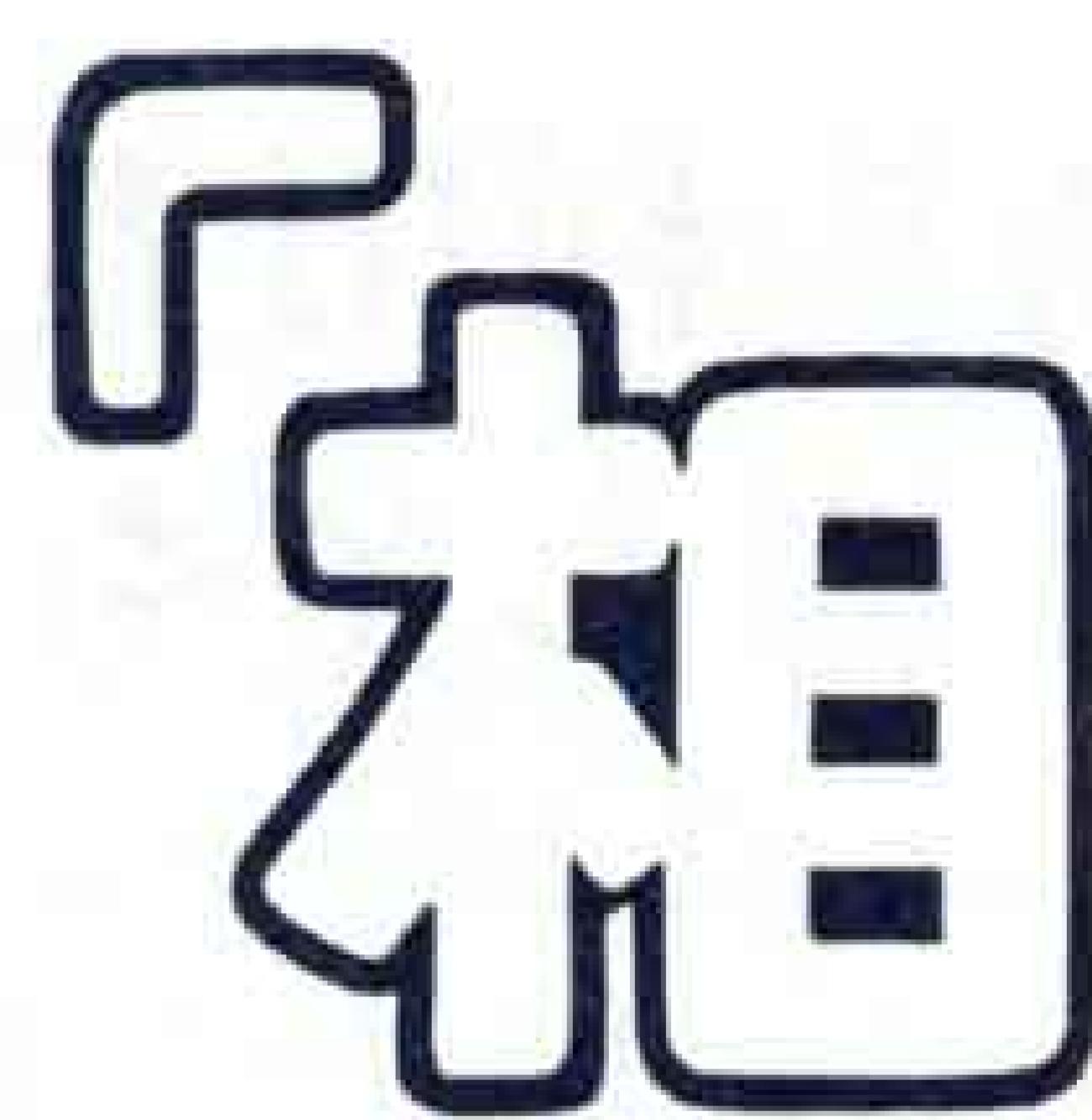


好評です

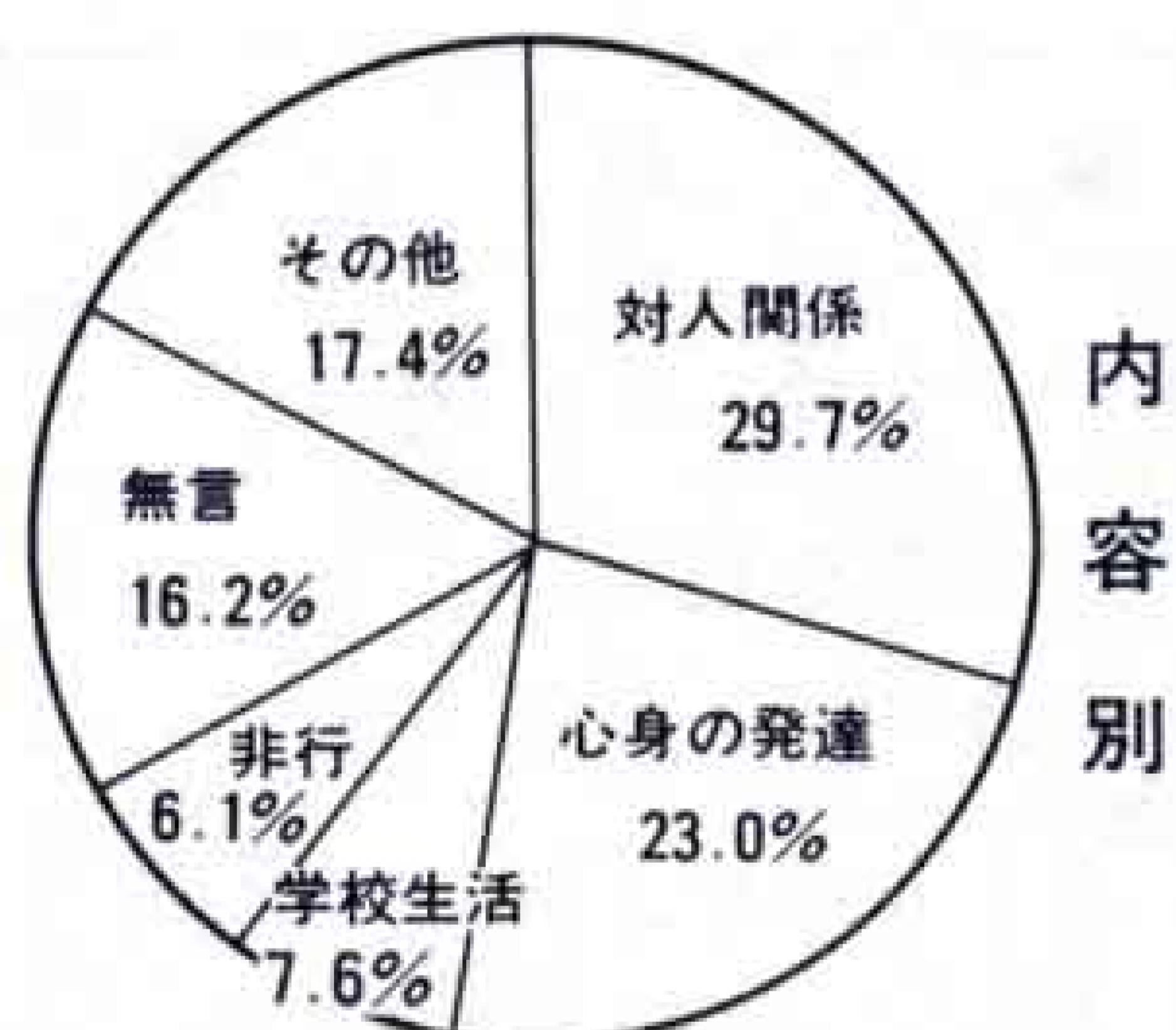
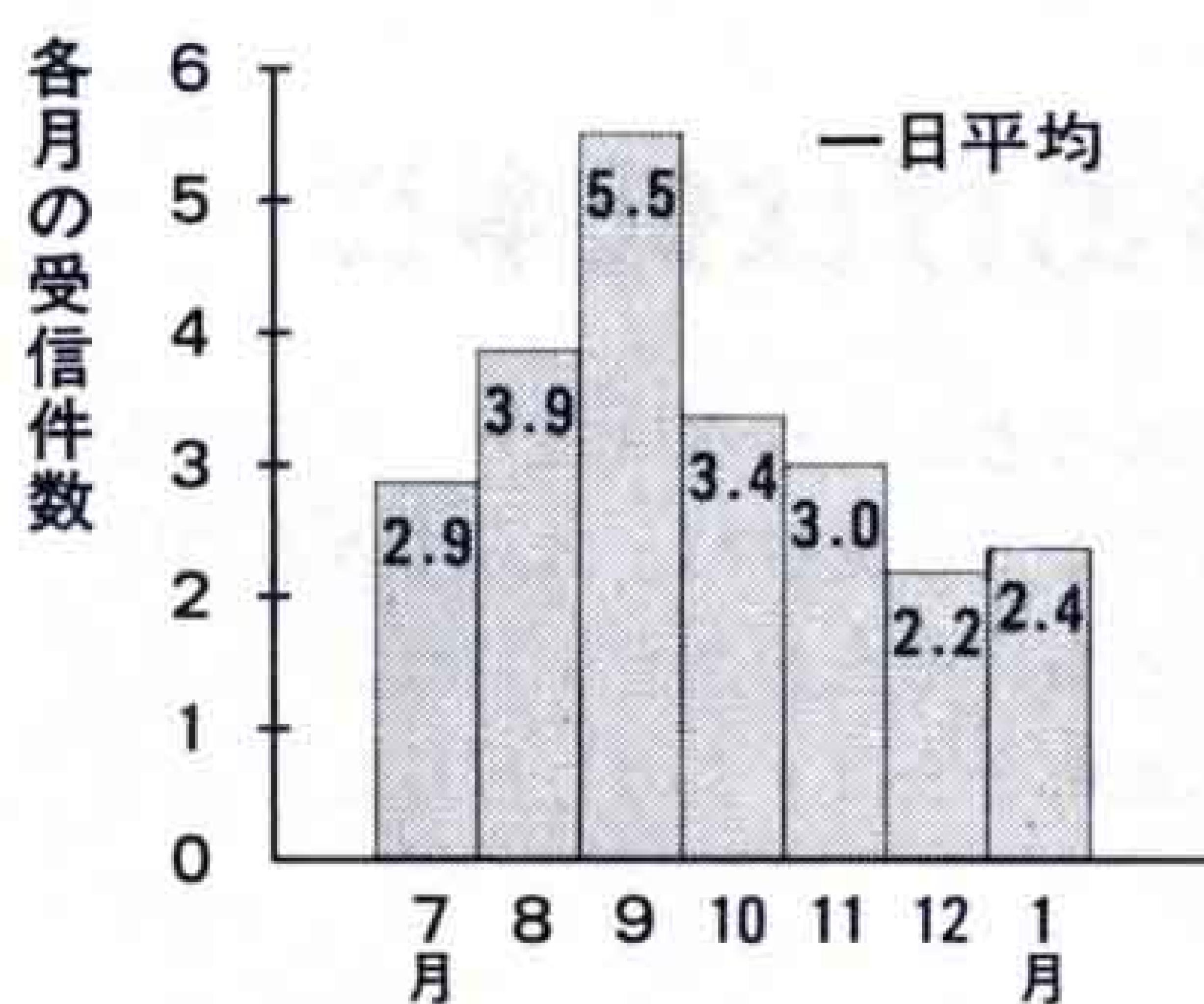


異性のことや非行問題など

昨年、青少年補導センター内に開設した「相談ふじ」は、相談者の悩みや心配ごとを解決する手段として、大きな成果をあげています。

「相談ふじ」には、異性問題、友だち関係、進路のことなど、小・中学生及び高校生、また保護者などから、さまざまな電話相談が寄せられています。

半年間で499件の相談



「相談ふじ」は、青少年の悩みや心配ごとを電話で相談に応じようと、昨年の7月、市役所西側の青少年補導センター相談所(依田原新田94)内に開設しました。すでに、県のハロー電話や県内のいくつかの市でも実施しているところはあるものの、専属の相談員を置いて実施した市は、富士市が初めてです。

電話相談には、教育経験者やボランティア活動経験者など11人が、電話相談奉仕員としてあたっています。

奉仕員は、相談者の悩みや訴えを親切に聞き、それを解決する糸口を見つける援助などをします。

また、電話だけではどうしても解

決できない場合などは、補導センター職員による「面接相談」も行っています。

「対人関係」が30%

開設以来、1月31日までの半年間に499件の電話相談がありました。

この内訳をみてみると、相談者の割合は、青少年が42.4%、成人が31.8%、不明が25.8%でした。

相談内容で最も多かったのは、友だちや異性問題など「対人関係」で148件。次いで、性についての悩みなど「心身の発達」が115件、「学校生活」についてが38件でした。

4月
号は
5

私の入学・入社体験

このコーナーを拡大
提言をお寄せください

私の
ひとこと

次回の4月5号から、この「」
ナーチャーをさらに拡大し、皆さんの意見
交換の場とする計画でいます。
あなたの考えていること、意見な
どをどしどしあ寄せください。

4月5号では、あなたが新一年
生として入学又は、入社した時の体
験談を語っていただきます。皆さん
のあたよりをお待ちしています。

△四月は、入学・入社シーズンを
迎え、新一年生は夢と希望に胸をふ
くらませていることでしょう。この
一年生や家族の人たちに、自分の絏
験が少しても役立てば……と思われ
る人は、原稿をお寄せください。

△応募される人へ
原稿は、三百字程度。趣旨を変え
ないで文を直すことがあります。
住所・氏名・年齢・連絡先を忘れ
ずにお書きください。

広聴課。(〒417 富士市永田61の1)
送り先は 富士市役所広報
締切りは、三月三十日です。